# かわさき区の宝物シート

| 宝物No. |
| --- |
| 10-4 |

わかみやはちまんぐう　みこしれんごうときょ

## 若宮八幡宮 神輿連合渡御

写真提供：若宮八幡宮

| エリア | 大師地区<br>大師周辺 | シーズン | 夏 |
| --- | --- | --- | --- |
| | | 日時 | 8月上旬 |

| 目的 | ■ 観る　□ 遊ぶ・体験する<br>□ 食べる　□ その他 |
| --- | --- |
| 宝物定義 | □ ものづくり　■ イベント・祭り<br>□ 味づくり　■ にぎわい<br>□ 現代の文化的なもの　□ 港めぐり<br>■ 歴史的なもの　□ 人物 |

| 所在地 | 川崎区大師駅前2-13-16 |
| --- | --- |
| 問い合わせ | 若宮八幡宮 |
| TEL | 044-222-3206 |
| FAX | 044-233-3060 |
| E-mail | net2@tomuraya.co.jp |
| URL | http://tomuraya.co.jp/wakamiya.htm<br>（e-大師ネット/若宮八幡宮） |
| 交通 | 京急大師線川崎大師駅より徒歩1分 |

マップ

**基礎情報**

■毎年8月上旬に行われる夏祭りで、若宮八幡宮周辺の町内会が合同で行う名物行事。若宮八幡宮を振り出しに、24町内会にある10から20数基のお神輿が表参道・仲見世練り歩き、川崎大師の境内へと入っていく。「えいさ、おいさ」の威勢の良い掛け声で、広い境内がたくさんのお神輿と、担ぎ手・見物人たちの熱気につつまれる。
■若宮八幡宮は大師地区の総鎮守で、地域に密着した神社として親しまれている。御祭神は仁徳天皇。大田区の八幡塚六郷神社の氏子たちが、大師河原を開拓した際に鎮守として祀った治水と干拓の守護神である。

**由来・エピソード**

■若宮八幡宮にて一同の安全を祈願した後、裏若連（大師中町）、大師睦隆盛会（大師町）、臺若連（台町）、本むら睦（大師本町）、元気印の子供神輿、厳島睦連（厳島神社）、藤崎町内会、大師駅前町内会など、地元24町内会にある神輿が連続して表参道・仲見世を通っていく。通りを通過する神輿の数は、10数基から多い年には25基にもなるという。担ぎ手、神輿、地元民、観光客で参道が埋め尽くされるなか、各町の担ぎ手たちは活気を競い合い、かけ声とともに神輿を激しく揺すっていく。豪華に飾られた神輿が激しく、次々と渡御していく様子は壮観である。
■連合渡御は昭和60年(1985)、大師中町町内会会長、川上光勇氏の発案で始まった。大師中町町内会は、神輿新調に伴い、川崎大師平間寺の開眼を受けた大日如来像を若宮八幡宮神霊と共に神輿に据えて奉祀し、町内会神輿を若宮八幡宮から川崎大師へお山入りする計画を立ち上げた。それに周辺の町内会も加わって、夏祭りを目前に控えた同年7月に中町町内会を先達とする「若宮八幡宮大祭参集町内神輿の連合渡御」実行委員会が発足した。最初の連合渡御は5町内で行われたが、会を重ねるごとに参加町内会も増加し、現在では夏祭りの一大イベントとなっている。

**補足・その他**

**関連シート**

(10-3)若宮八幡宮･若宮郷土資料室
(10-10)川崎大師表参道
(10-13)川崎大師仲見世通り
(10-17)川崎大師平間寺